

県議会について紹介します

わたしたちの住む福岡県をより豊かで住みやすくすることは、県民みんなの共通の願いです。しかし、その願いを実現するために県はどのような仕事をしたらよいかを、みんなで集まって話し合うことは困難です。そこで、皆さんを代表して話し合いを行う県議会議員が、県内の各地から選挙で選ばれています。県議会議員が集まって皆さんの意見をいかし、県の仕事の基本的な方針を決定するところが県議会です。そして、県議会で決められたことをもとに、知事は県の仕事を進めています。

正副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙によって選ばれます。議長は、本会議の議事を整理して会議を進めることのほか、県議会の代表としての役割もあります。副議長は、議長が不在などの時、議長の代わりを務めます。

議長



桐明 和久

自由民主党福岡県議団

副議長



井上 博隆

民主県政クラブ県議団

代表者会議

代表者会議は、議長・副議長および5人以上の所属議員を有する会派の代表者により構成され、議会運営上必要と認められる事項などを協議し、会派間の意見を調整するために設置されています。例えば、令和3年度には20回もの新型コロナ対策関連補正予算4,318億円について、令和4年度（12月定例会閉会時まで）には新型コロナ対策、原油・物価高騰対策、地域活性化、安全・安心などの6回にわたる補正予算1,859億円について、県民の皆さまの命や生活を守るため、服部誠太郎知事と協議した議会運営を行うことを代表者会議で協議・調整した結果、速やかな可決、執行に結び付けました。二元代表制の一翼を担う県議会は、知事との緊張関係を保ちつつも、知事と協調して県民の皆さまのための県政を推進しています。

自由民主党福岡県議団



会長 松本 國寛

民主県政クラブ県議団



会長 岩元 一儀

緑友会福岡県議団



会長 井上 忠敏

公明党福岡県議団



団長 森下 博司

(所属議員37名)

(所属議員20名)

(所属議員11名)

(所属議員9名)

輩出委員長

議会運営委員会 委員長

総務企画地域振興委員会 委員長
 県土整備委員会 委員長
 文教委員会 委員長
 警察委員会 委員長

再生可能エネルギー等調査
 特別委員会 委員長
 ワンヘルス・地方分権調査
 特別委員会 委員長
 スポーツ立県調査
 特別委員会 委員長

厚生労働環境委員会 委員長
 県民生活商工委員会 委員長

空港・交通インフラ調査
 特別委員会 委員長
 国際化・多文化共生社会調査
 特別委員会 委員長

農林水産委員会 委員長

子育て支援・人財育成調査
 特別委員会 委員長

建築都市委員会 委員長

輩出副委員長

総務企画地域振興委員会 副委員長
 農林水産委員会 副委員長
 県土整備委員会 副委員長
 文教委員会 副委員長

空港・交通インフラ調査
 特別委員会 副委員長
 子育て支援・人財育成調査
 特別委員会 副委員長
 国際化・多文化共生社会調査
 特別委員会 副委員長

議会運営委員会 副委員長
 建築都市委員会 副委員長
 警察委員会 副委員長

再生可能エネルギー等調査
 特別委員会 副委員長
 ワンヘルス・地方分権調査
 特別委員会 副委員長

県民生活商工委員会 副委員長

スポーツ立県調査
 特別委員会 副委員長

厚生労働環境委員会 副委員長

※議会運営委員会は、会期、議事日程、会期の延長・休会など議決を必要とする案件の取り扱いを協議し、また、議長の諮問に答えるなど議会の円滑な運営を図るために設置されています。

※常任委員会は、県の部局ごとに分けて総務企画地域振興委員会などの8つの委員会が設置されています。会期中は、議案、請願などの審査を行い、また、閉会中は本会議で付議された調査事項の審査・調査を行っています。

※特別委員会は、特定の案件を審査・調査するため必要な場合に設置されます。現在6つの委員会が設置されています。

上記の4会派のほか、日本共産党福岡県議会議員団(2名)、自民党進志会(1名)、真政会(1名)、拓志会(1名)があります。

※各会派の所属議員数は令和5年1月末現在



福岡県議会ホームページ
<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>

携帯電話向けサイト
<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

福岡県は
ワンヘルスの
世界的先進地
となることを
目指しています

福岡県ワンヘルス
推進ポータルサイト
<https://onehealth.pref.fukuoka.lg.jp/>



定例会の概要

令和四年十二月

12月定例会は、12月1日に招集され、12月20日まで20日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、地域経済の活性化と成長・発展に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた医療提供体制強化などに必要な経費の令和4年度補正予算議案2件、条例議案12件、工事請負契約の締結に関する議案10件、その他の議案5件の計29件の議案が開会日に知事より提出されました。

さらに、国の補正予算を最大限活用し、地域経済の活性化と成長・発展に取り組むとともに、次代を担う「人財」の育成、新型コロナウイルス感染症対策、安全・安心の確保に必要な経費の補正予算議案2件が追加提出されました。

また、議員提出議案として「福岡県議会の保有する個人情報保護に関する条例の制定について」を提出しました。

審議にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策、福祉労働問題、環境問題、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたる活発な議論が交わされました。

審議の結果、32件について、いずれも原案のとおり可決されました。